

厚生環境委員会委員協議会記録

1 会議の日時	令和5年1月20日	開 会 午後 0時57分 閉 会 午後 1時55分
2 会議の場所	第3委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 長屋 光征 副委員長 今井 政嘉 伊藤 正博 松村 多美夫 佐藤 武彦 伊藤 秀光 小原 尚 森 益基
	執 行 部	別紙配席図のとおり
4 事務局職員	課長補佐 市川 達也	主査 柘植 健太

5 会議に付した案件		
件	名	審 査 の 結 果
1	岐阜県庁内保育施設「ぎふっこ保育園」について	

6 議事録（要点筆記）

○長屋光征委員長

ただいまから厚生環境委員会委員協議会を開会する。

本日の協議会は、委員会の所管事項の調査や施策の評価の充実を図るため開催する。

本日の執行部の出席者については、議題に関係する所属に限定している。

本日の議題に入る前に、県内の新型コロナウイルス感染症の感染状況等について、執行部から報告をお願いします。

（健康福祉部長から挨拶の後、資料に基づき報告）

○長屋光征委員長

ただいまの説明に対して、質問等はあるか。

質疑は、一問一答をお願いします。

○佐藤武彦委員

新規陽性者数は減少しているということによいか。

○堀健康福祉部長

減少傾向に入っていると認識している。

○佐藤武彦委員

季節性インフルエンザについて、直近の定点医療機関あたりの患者数である4.02人は、全数把握している新型コロナと同じ集計方法に換算するとどの程度の数なのか。

○堀健康福祉部長

換算することは難しいが、新型コロナ流行前には、同時期に現在の10倍程度の季節性インフルエンザ患者が発生していたことと比べると、非常に少ない状況である。また、現在の新型コロナの陽性者数と比較しても少ない。引き続き、状況を注視していきたい。

○長屋光征委員長

一般の方に対して病床使用率が50%程度に達していると伝えても、まだ余裕があるという認識を持たれることがある。救急搬送困難事案が増加して大きな影響が出ているということ、県民に周知して理解いただくことが重要である。また、急病等の際に救急車の要請について相談できる救急相談窓口の周知徹底についてもお願いしたい。

○森益基委員

ほとんどの新型コロナ関連死亡者には基礎疾患があったようだが、どのような疾患が多いのか。

○堀健康福祉部長

循環器系の疾患や糖尿病など、多岐にわたっている。特に70代以上の方は、複数の基礎疾患を持っていた方が多い。

○佐藤武彦委員

県は、全国に先駆けて医療ひっ迫防止対策強化宣言を発出したが、宣言を出していない県と比較して効果はあったのか。

○堀健康福祉部長

定量的な効果の説明が困難ではあるが、病床使用率は非常に高い状況が続いているものの、宣言発出時と比べて新規陽性者数は減少している。

宣言の発出は、県として、その時点で取り得る対策の1つとして行ったもの。他に静岡県が同様の宣言を発出しているが、感染状況がレベル3に達しているという認識はあるものの、宣言を発出していない県もある。

○佐藤武彦委員

宣言の取扱いについては、経済への負荷が生じる面もあり、全国でも対応にばらつきがある。対策をしっかりとやるのはよいが、宣言を発出しなかった県と状況を比較しながら、感染防止対策と社会経済活

動とが両立するよう取り組んでいただきたい。

○長屋光征委員長

新型コロナの累積陽性者が増える中で、後遺症について耳にする機会が多くなってきたため、後遺症を抱える方へのケアについて要望する。

○長屋光征委員長

質疑も尽きたようですので、これをもって、質疑を終了する。

続いて、本日の議題に入る。

本日の議題である、今年4月に開園予定の岐阜県庁内保育施設「ぎふっこ保育園」について、執行部からの説明と質疑応答の後、実際に保育所の施設の見学を行う。

それでは、岐阜県庁内保育施設「ぎふっこ保育園」について執行部から説明をお願いします。

(子ども・女性局副局長から、資料に基づき説明)

○長屋光征委員長

ただいまの説明に対して、質問等はあるか。

質疑は、一問一答をお願いします。

○松村多美夫委員

保育園の運営にあたり、事業主負担金として約500万円の予算が必要になるとのことだが、このほかに運営事業者へ委託料を支払うのか。

○若野男女共同参画・女性の活躍推進課長

市町村から支給される給付費と利用者負担金を原資に運営していただくことになるので、県から委託料を支払うことはない。

○松村多美夫委員

事業主負担として、毎年約500万円が必要になるということでしょうか。

○若野男女共同参画・女性の活躍推進課長

利用される児童の数により毎年変動するが、来年度は500万円程度を想定している。

○伊藤正博委員

令和5年4月からの入園状況は定員25名に対し、22名が内定しているとのことだが、何名の方から申込みがあったのか。

○若野男女共同参画・女性の活躍推進課長

地域枠については岐阜市が利用調整をしているため、県では申込み者数を承知していない。従業員枠については17名の申込みがあった。

○伊藤正博委員

従業員枠は17名の申込みに対し、12名を内定したとのことだが、2歳児クラスは定員6名に対して、3名しか申込みがなかったということか。

○若野男女共同参画・女性の活躍推進課長

そのとおり。年齢毎に申込みの状況は異なっており、0歳児と1歳児は申込みが多かったため、岐阜市の利用調整方法に準じて県で入所選考を行い、4名の方が選考から漏れることとなった。このほか2歳児クラスでは1名の方が内定後に辞退をされた。

○伊藤正博委員

従業員枠の2歳児クラスは定員の半分が空いているが、年度途中からでも申し込むことはできるのか。

○若野男女共同参画・女性の活躍推進課長

可能である。現在も二次募集中であり、定員を満たさない場合は4月1日以降も申込みの受付をし、できるだけ多くの方に利用していただきたいと考えている。

○伊藤正博委員

県庁内の保育所なので、職員の利用割合が大きいと思うが、従業員枠の定員を15名、地域枠の定員を10名とした制度的な取り決めはあるのか。

- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
従業員枠と地域枠の定員割合を定めるものはないが、岐阜市の認可保育所であるため、地域枠については、岐阜市と必要となる定員を調整した。従業員枠については、職員へのアンケートや他都道府県の状態を見ながら必要量を検討し、15名と設定した。
- 佐藤武彦委員
運営事業者として株式会社セリオを選定した経緯は。
- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
運営事業者の選定はプロポーザル方式で行った。県内も含め提案事業者を募り、プロポーザル評価会議での審査を経て決定した。
- 佐藤武彦委員
株式会社セリオは大阪の事業者だが、県内も含め、いくつかの事業者から提案があり、その中から選定したということか。
- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
そうである。県内外で複数の応募があり、評価会議で審査したところ、結果として県外の事業者である株式会社セリオに決定することとなった。
- 佐藤武彦委員
プロポーザル評価会議において、株式会社セリオはどのような点が評価されたか。
- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
保育所を運営していく組織体制や特徴的な保育内容が評価された。
- 伊藤秀光委員
旧庁舎の解体工事のため、振動対策を講じているとのことだが、振動の大きさとして想定している数値はあるか。
- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
解体工事のスケジュール等については、今後、具体的に検討されるものと承知しており、現時点で想定することは難しいが、振動については、屋内で静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人がいる程度、と考えている。今後の解体工事の内容によって対策も変わってくることから、解体工事のスケジュール等を運営事業者と共有しながら、支障のないよう進めていきたい。
- 伊藤秀光委員
解体工事に5年を要すると聞いていることから、関係機関と十分に調整しながら、運営に支障のないように進めていただきたい。
- 佐藤武彦委員
認可権者は岐阜市ということか。
- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
そのとおり。
- 佐藤武彦委員
県庁内の保育施設を運営事業者に使用させるということだが、無償で使用させるのか。
- 若野男女共同参画・女性の活躍推進課長
目的外使用に係る使用料については、無償とする方向で関係課と調整している。管理費については使用面積に応じて負担いただく予定。
- 長屋光征委員長
0歳児から2歳児は急な発熱なども多いことから、近隣の病児・病後児保育の事業者とも連携し、利用者に支障のないようにしていただきたい。
- 長屋光征委員長
それでは、施設見学のため移動をする。
(保育所において、男女共同参画・女性の活躍推進課長から施設について説明)

○長屋光征委員長

これをもって、本日の委員協議会を閉会する。

厚生環境委員会委員協議会配席図

令和5年1月20日

第3委員会室

